

クローズアップ



建物外観

# 一宮市役所本庁舎

松川好史

(Yoshifumi Matsukawa)

菱電エレベータ施設株式会社  
名古屋支店 設計部

## 1. はじめに

一宮市は古くから織物が発達しており、毎年7月に開催される「一宮七夕まつり」は全国的に有名です。新庁舎は、この歴史ある市のシンボルとなるように、また、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」を基本とし、次の基本理念に基づき、設計・建設されています。

〈基本理念〉

1. 市のシンボルとなる庁舎
2. 便利でわかりやすい庁舎
3. 市民にひらかれた庁舎
4. 安全・安心な庁舎
5. 環境にやさしい庁舎

また、地震などの大規模災害に備え、免震構造を採用するとともに、停電しても72時間連続で電気を供給することができる非常用発電機を配備し、市民の安全を確保するための防災拠点としての機能が装備されています。

## 2. 建物概要

所在地：愛知県一宮市本町2丁目5番1

建築主：一宮市

設計・監理：株式会社 石本建築事務所 名古屋支所

施工：清水・榊原・中村特定建設工事共同企業体

建物用途：事務所（庁舎）

敷地面積：8,031.79㎡

建築面積：2,300.42㎡

延床面積：31,139.78㎡

構造：地下RC造、地上S造+SRC造

階床数：地下1階、地上15階、PH1階

建屋高、軒高：64.84m

工期：2011年10月～2014年3月（新庁舎のみ）

竣工日：2014年3月

開業日（業務開始日）：2014年5月

## 3. 昇降機設備

昇降機設備はエレベーター5台が設置され、その内、2台が人荷用（兼非常用）、残り3台が乗用（展望）エレベーターとして設置されています。

建物中央に設置された交通のメインである乗用（展望）エレベーターは、1階から3階まではガラス昇降路、4階から12階は建物の吹抜け部を利用したオープン昇降路となっており、建物も含め全体的に開放感があるつくりとなっています。

乗場のデザインもガラス乗場壁に合わせて大型窓を設置し、明るく、開放的なエレベーターホールを演出するとともにガラスサッシにホールランタンなどを組み込み、一体感のあるデザインとなっています。

かごにおいても開放感と明るさを重視したデザインとなっており、かご室展望窓は側面壁一部と正面壁全面に設け、天井も全面光天井のガラスクロス天井照明を採用しています。

かご室の展望窓からは七夕まつりの短冊をイメージしたデザインガラス窓が望めます。

クローズアップ



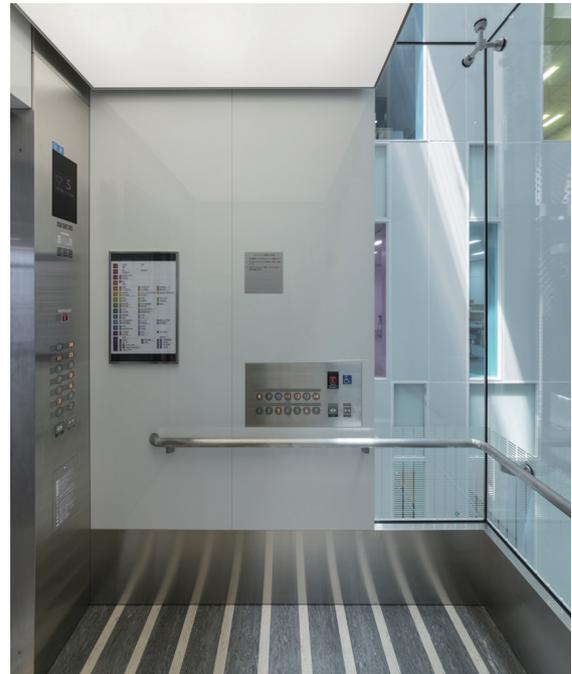
エレベーター外観



エレベーター乗場



エレベーターかご内1



エレベーターかご内2

エレベーター仕様 (計5台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	人荷用	インバーター	乗合全自動方式	1150	17	120	1	15 (B1, 1 ~ 14)	三菱	兼非常用
2	"	"	"	1700	26	120	1	16 (B1, 1 ~ 15)		"
3, 5	乗用	"	全自動群管理方式	1150	17	180	2	14 (1 ~ 14)		展望用
4	"	"	"	1250	19	180	1	14 (1 ~ 14)		展望用・車椅子仕様

※ No. 3 ~ 5 号機は 3 台群管理です。